

# 迎春

謹んで新年のごあいさつを申し上げます

## 年頭に当たって



高山村長  
後藤 幸三

新年明けましておめでとうございます。村民皆様には、平成30年の新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、公私に渡り大変お世話様になり、心より感謝を申し上げますとともに本年も引き続き宜しくご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

昨年を振り返りますと、国内外でさまざまな話題や事件が報道されました。

まず政治・社会面では、森友・加計学園問題、東京都知事選挙、衆議院議員総選挙、と話題を提供した二年でした。一方海外では、アメリカでトランプ大統領が誕生し、アメリカ・ファーストによる世界秩序の乱れ、ISによる各地でのテロの発生、北長引く内戦による大量の避難民の発生、北朝鮮による核危機云々。スポーツ界では、大相撲の場外編など暗いニュースがあります。

したが、桐生選手の日本人初めての100m9秒台の記録更新という国民を勇気づける明るい話題もありました。

一昨年12月22日に発生した新潟県糸魚川市の大火災、九州北部豪雨による37名の犠牲者、行方不明者を出した痛ましい自然災害等が発生しました。

幸い本村においては、大きな災害もなく、天候不順ではありませんが、農作物も平年並みの作柄とので安堵した次第であります。

さて、村政運営であります。中心地づくり基本計画を踏まえ、村の中心地づくり、定住促進や少子高齢化対策、交流人口の増加を図るべく現在、一道の駅中山盆地周辺整備」として緑地広場を整備中であり、この広場にはユニークな四阿をはじめ、バリアフリー遊歩道、大型児童遊具、健康遊具を設置し、村内外からの誘客を促進して、村の活性化に役立てたいと思います。本年4月にはグラウンドオープン予定です。また、今後の周辺整備として体験交流館・農産物加工所・小規模宿泊施設等の計画も具体化してまいりたいと思っております。そして、村民皆様の福祉の向上に努めていく所存でありますので、尚一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに村民皆様の益々のご多幸ご健康を衷心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



## 年頭にあたって



高山村 議会議長  
有馬 嘉太郎

明けましておめでとうございます。

村民皆様には、平成30年の新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、議会活動に対しまして、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を顧みれば、7月の九州北部豪雨、相次ぐ台風の上陸、秋の長雨と依然として自然災害に見舞われた年となりましたが、幸い当村では、風水害も無く、農作物についても平年並の収穫であったのではないかと思います。

8月には、自立した生活が困難になった方が利用していただける地域密着型特別養護老人ホーム「中山の郷」がりんどうの里敷地内に竣工し、住み慣れた高山村での生活を希望する方への受け入れ施設、村民優先の施設として、地域福祉に大いに寄与

するものと思えます。

10月には、北朝鮮情勢が緊迫する中、衆議院議員解散総選挙が行われ、与党が圧勝し、第四次安倍内閣が発足しました。経済、外交、安全保障、社会保障など様々な課題に真摯に取り組んでいただき、国民生活の安定を第一に政権運営を期待しております。

年度をまたいで進めてきた「道の駅周辺整備事業」緑地広場、児童公園の工事も、建物人道橋、大型遊具、健康遊具等の設置も終わり、間もなく完成となります。名称も「高山ふれあいパーク」と決まり、4月にグランドオープン予定で村内外の子どもからお年寄りまで多くの人に利用していただく中で、新たな高山村のランドマークとなるものと思えます。道の駅「中山盆地」ふれあいプラザへの集客効果と交流人口の増加、活性化にも繋がりオープンが待たれます。

本村議会は、平成27年4月に村民皆様の負託を受け、今年集大成の年を迎えることとなります。人口減少、少子高齢化が進行する現実に正面から向き合い、「村民の幸せな生活を守るため」議員一同役割と責任をしっかりと自覚し全力で取り組んで参りますので、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに村民皆様にとって今年一年がより良い年となりますよう、心からお祈り申し上げ年頭の挨拶といたします。

年頭に当たって



高山村教育委員会教育長  
山口 廣

新年あけましておめでとうござい  
ます。

村民皆様には、ご家族お揃いで平  
成30年の新春を健やかなうちに迎え  
られたことと心よりお慶び申し上げ  
ます。

旧年中はひとかたならぬご指導と  
ご鞭撻を賜り、誠にありがとうございます  
ました。おかげさまで学校教育、社  
会教育、芸術文化・スポーツの振興等、  
本村の教育行政を順調に進めること  
ができました。本年も変わらぬご支  
援とご協力をどうぞよろしくお願  
いいたします。

昨年を振り返ってみますと4月に  
は一昨年に続き交流を行っているオー

ストラリアのトーマスハッサール校の  
生徒を本村に迎えることができ、中  
学生のお宅の協力を得てホームステ  
イをしました。8月には本村の中学  
2年生27名がトーマスハッサール校を  
訪れ、交流を深めながら語学研修を  
行いました。

高山村は以前から英語教育に力を  
入れており、現在、中学校の英語教  
員が小学校で英語の授業をしていま  
す。また、地域のボランティアの協力  
を得て、小学校低・中学年、中学校2・  
3年生を対象に放課後等を使い、い  
ぶき会館で英語の学習をしています。  
さらに、昨年4月より中学生を対象  
に英語検定料(及び漢字検定料)の全  
額補助を実施し、成果を上げてきて  
います。

本年4月より、小学校3・4年生  
で外国語(英語)活動が新設され、5・  
6年生は授業時数が増えます。本村  
の英語教育への取組により、今後一層  
の成果が期待できると考えています。  
小中学校では、昨年3月までにタ  
ブレットPC等のICT機器の整備が  
進み、魅力的な授業づくりに向け、  
現在、両校ともICTの研修を行って  
います。

次に文化財に関してですが、一昨年  
から、文化財調査委員の方々の協力  
を得て、冊子「たかやまの文化財」の  
改訂に取り組んでいます。平成7年

3月以来の改訂で、この間、平形家住  
宅門屋が国登録有形文化財に指定さ  
れたり、昨年6月には、雙松寺の一切  
経が村指定文化財に指定されたりし  
ました。また、調査も進み、それに伴  
い文章の見直しを行い、本年3月まで  
に発行する予定です。

今回の改訂の特徴としては、多く  
の皆様が高山村の文化財を見て、知っ  
ていただきたく、文化財の場所を示  
すQRコードを印刷しました。スマー  
トフォンなどでQRコードを読み取る  
と、文化財の場所が地図上に示され  
ますので、活用してもらいたいと思  
います。

生涯スポーツの面から見ますと、  
天候不順で2年間中止となっていた高  
山村民運動会が3年ぶりに開催され  
たり、吾妻郡民体育祭で玉入れが3  
連覇を達成したりするなど、記憶に  
残る年でした。

本年も皆様のニーズと期待に応え  
られるよう各種団体などを支援しな  
がら、学校教育、社会教育、芸術文化、  
スポーツの振興等、生涯学習の推進に  
努めていく所存ですので、ご理解とご  
協力をお願いいたします。

結びに本年が村民皆様にとつて幸  
せに満ち充実した年となりますよう  
ご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とい  
たします。